質問　主な質問と答弁

中学校給食検討委員会

7月に第1回検討委員会を開催
課題整理や先進事例の研究を進める

質問　中学校給食検討委員会を設置するとのことだが、現在の進捗状況について聞きたい。

また、当事者である中学生や保護者へアンケート調査を実施し、現状を把握するべきと考えるが、見解を聞きたい。

答弁　神奈川県内において中学校給食をセンター方式やデリバリー弁当方式で導入する市町が増加してきており、本市においても学識経験者、学校関係者、市民、教育委員会事務局からなる中学校給食検討委員会を設置する準備を進めている。今後、第一回の検討委員会を七月中に開催する予定であり、その中で、中学校給食の現状と方向性、生徒の「食」を取り巻く現状、食育の問題など、中学校給食に関する課題整理を行っていく。また、県内を初め全国の中学校給食先進市の実施方法や事業費等の研究も進めていく。

アンケート調査の実施に関しては、先進市においても、中学生の食生活、栄養摂取の傾向、家庭内での食に対する意識等、健全な心身の発達のための情報を広く集めているとのことであり、検討委員会にこうした先進市の事例を紹介していきたいと考えている。

特定不妊治療費助成
今年度から制度拡充

質問　特定不妊治療費助成制度のこれまでの利用状況について聞きたい。

また、今年度から制度を拡充したとのことだが、その内容と広報周知についても聞きたい。

答弁　本市の特定不妊治療費助成制度は、平成十九年度から実施しており、神奈川県の助成制度に上乗せする形で、二人の合計所得が七百三十万円未満の夫婦を対象とし、一回の治療につき十万円を限度として、十九年度では一年度一回、二十年度以降は一年度二回に拡充し、通算五年間助成している。

利用件数は、十九年度は八十五件、二十年度は二百十五件、二十一年度は二百七十二件、二十二年度は三百八十件程度と年々増加している。

今年度の制度拡充の内容は、従来の制度に加え、所得制限を超えた夫婦に対しても、一年度一回十万円を限度に助成することとし、少子化対策の充実を図ったところである。

制度拡充等に関する広報については、関係医療機関の協力を得ながら制度の周知に努めるとともに、広報ふじさわや市のホームページ等を通じて、今後とも広報活動に取り組んでいきたいと考えている。

約6,000人のランナーが参加して開催された湘南藤沢市民マラソン

今後も継続して開催
湘南藤沢市民マラソン
近隣市との連携強化を図る

質問　湘南藤沢市民マラソンは、健康都市藤沢にふさわしい大会であったと高く評価している。今後、さらに大きな大会とするためにも、十マイル（約十六キロメートル）よりも距離が長く、より一般的な種目であるハーフマラソンの開催を望むところであり、近隣市と連携することによってそのコース設定も可能と考えるが、見解を聞きたい。

答弁　近隣市においても、風光明媚な湘南海岸の地域特性を生かした生涯スポーツ活動を通じて、市民の健康を促進することに対する認識は、本市と同様であると考えている。

今回、多くの方々の参加と協力により、無事開催できた湘南藤沢市民マラソンについては、内容をより充実させて、二回目以降継続して開催していく予定である。

今後は、市民からの声をより反映させていくとともに、近隣市の実状をしっかりと把握する中で連携を強化し、警察当局、競技団体及び経済団体等関係機関の情報交換を密にして、さらに魅力ある大会となるようハーフマラソンなどの実現を目指し、協議、検討を行っていきたいと考えている。

リビングラボの導入
産業基盤強化を図る

質問　湘南リビングラボ事業の導入・構築の経過について聞きたい。

また、本事業により、どのような政策展開を図っていくのか。

答弁　本市では、融資制度やインキュベーション（起業支援）施策、新産業創出コンソーシアム（共同事業体）事業などを通して、市内中小企業の経営安定や新産業の創出に努めているが、製品やサービスを作る際にどのようなものが売れるのか悩む事業者に対する新しい支援策の必要性を感じていたところである。

そのような中、欧州を中心に製品開発の初期段階から、ユーザーテストを通して消費者の生活や感覚を把握し、事業者にフィードバックするリビングラボという仕組みが広く活用されていることを知り、本市の産業基盤の強化に有効であると判断し、その手法を本市の事業に取り入れたものである。

事業者の方々には、製品・サービスを開発する際に、消費者の生活や感覚を取り入れ、売れる製品・サービスを作るための手段として、積極的にリビングラボを活用していただきたいと考えている。

一般車乗降スペース
辻堂駅南口に整備を

質問　辻堂駅南口駅前広場の整備に当たり、以前より地域住民から強い要望のある一般車の乗降スペースに関する計画について、現在の状況を聞きたい。

答弁　辻堂駅南口駅前広場における一般車乗降スペースについては、現状の駅前広場にない新たな機能として、平成二十一年度に策定した辻堂駅南口再整備計画において広場西側に設けることを位置づけ、関係機関と協議してきたが、設置予定地が道路交通法上の交差点にあたり、停車及び駐車を禁止する場所であるとの見解から、設けることが困難な状況となっている。

なお、障がいがある方を初め、高齢者や妊婦などへの乗降スペースは、駅に直結する南口駅前広場北側のエレベーター前に配置することを計画している。

一般車乗降スペースの設置については、現在進めているデッキ新設工事に伴い、交通管理者と施工計画等について協議を行う中で、幾度となく要望してきたところだが、引き続き駅前広場の交通環境等を検証し、さまざまな観点から交通管理者と協議していきたいと考えている。

北部土地区画整理
保留地の処分を予定

質問　北部第二（三地区）土地区画整理事業については、事業効率の観点から、道路整備を優先的に行ってきたと聞いている。

しかし、道路沿線や周辺住民の生活環境等の面的整備が遅れていることは問題だと考えるが、見解を聞きたい。

答弁　本事業を効率的、効果的に展開していくため、平成十八年度から「選択と集中」の基本方針のもと、三十二年までの一期五カ年の三期にわたる段階的な整備方針を定め、事業を進めてきている。その結果、第一期期間内に藤沢厚木線及び土棚石川線の全面開通のほか、横浜伊勢原線の四車線化、石川下土棚線の相当区間の整備を実現した。

当該道路の沿道街区の面的整備等についてもあわせて取り組んできたところであるが、財政的事情もあり、計画に対する達成状況は、約三五％となっている。

このような状況を踏まえ、今年度より、事業進捗を図るための自主財源の確保策として、初めての保留地処分を予定しているところであり、その処分金を活用して、第一期分のより早急な整備を実現するとともに、今年度から着手する第二期分についても整備を進めていきたいと考えている。

私道の維持管理問題
市の積極的な対応を

質問　維持管理が十分でなく、市民の日常生活に支障を来す状態にある私道について、市として何らかの対応を望むところであるが、見解を聞きたい。

答弁　私道は、排水施設の整ったアスファルト舗装の道や、昔から通行していた生活道としての砂利道など、その形成過程や現状もさまざまである。市内には私道が多数あるが、道路舗装等維持管理については、所有者がそれぞれ行っており、公平性の確保の点からも、所有者が行うべきものと考えている。

質問　私道の維持管理問題について、住民と地権者との合意形成を含め、市が積極的に問題解決に取り組むことを望む声があるが、見解を聞きたい。

答弁　原則的に、個人の財産に関する問題に市が関与するものではないが、日常生活で使用している生活道路であることを踏まえると、災害・緊急時の安全確保を図るため、法や規則の遵守、公平性の確保を前提として、市として個別相談に対応し、問題解決につなげていきたいと考えている。

議員出席表

5月臨時会
6月定例会
本　会　議

席番号	氏名	5/19	6/7	6/9	6/20	6/21	6/22	6/23
1	土屋　俊則	○	○	○	○	○	○	○
2	加藤　なを子	○	○	○	○	○	○	○
3	柳沢　潤次	○	○	○	○	○	○	○
4	原田　伴子	○	○	○	○	○	○	○
5	桜井　直人	○	○	○	○	○	○	○
6	市川　和広	○	○	○	○	○	○	○
7	佐藤　春雄	○	○	○	○	○	○	○
8	佐賀　和樹	○	○	○	○	○	○	○
9	青木　仁子	○	○	○	○	○	○	○
10	脇　礼子	○	○	○	○	○	○	○
11	佐藤　清崇	○	○	○	○	○	○	○
12	永井　譲	○	○	○	○	○	○	○
13	浜元　輝喜	○	○	○	○	○	○	○
14	原　輝雄	○	○	○	○	○	○	○
15	井上　裕介	○	○	○	○	○	○	○
16	諏訪間　春雄	○	病欠	病欠	○	○	○	○
17	松長　泰幸	○	○	○	○	○	○	○
18	山口　幸雄	○	○	○	○	○	○	○
19	大矢　徹	○	○	○	○	○	○	○
20	竹村　雅夫	○	○	○	○	○	○	○
21	三野　由美子	○	○	○	○	○	○	○
22	柳田　秀憲	○	○	○	○	○	○	○
23	友田　宗也	○	○	○	○	○	○	○
24	有賀　正義	○	○	○	○	○	○	○
25	東木　久代	○	○	○	○	○	○	○
26	武藤　正人	○	○	○	○	○	○	○
27	塚本　昌紀	○	○	○	○	○	○	○
28	松下　賢一郎	○	○	○	○	○	○	○
29	高橋　八一雄	○	○	○	○	○	○	○
30	渡辺　光雄	○	○	○	○	○	○	○
31	栗原　義夫	○	○	○	○	○	○	○
32	宮戸　光	○	○	○	○	○	○	○
33	吉田　淳基	○	○	○	○	○	○	○
34	加藤　一	○	○	○	○	○	○	○
35	大野　美紀	○	○	○	○	○	○	○
36	増井　秀夫	○	○	○	○	○	○	○